

テクニカルSEOチェックシート40項目

✓ = 対応済み □ = 未対応 △ = 一部対応

1. セキュリティと基本設定（8項目）

- すべてのページがHTTPS化されている
- HTTP版から適切にリダイレクトされている
- 混在コンテンツ（HTTP/HTTPS混在）の警告がない
- セキュリティヘッダーが適切に設定されている
- WordPressのコアファイルが最新版に更新されている
- テーマやプラグインが最新のものに更新されている
- 不要なプラグインが削除されている（15個以下が理想）
- 定期的なバックアップが自動化されている

2. モバイル対応（8項目）

- すべてのページがモバイルフレンドリーテストに合格している
- スマホで文字が読みやすいサイズになっている（16px以上推奨）
- タップ要素が十分な大きさと間隔を持っている（44px×44px以上）
- 横スクロールが発生していない
- メニューがスマホで使いやすく最適化されている
- フォームの入力がスマホで行いやすい設計になっている
- モバイルビューでの広告やポップアップが過剰でない
- テキストと背景のコントラスト比が十分ある

3. ページ表示速度（8項目）

- LCP（最大のコンテンツの表示時間）が2.5秒以内
- INP（インタラクションの応答速度）が200ミリ秒以内
- CLS（視覚的安定性）が0.1以下
- 画像が適切に圧縮され、次世代フォーマット（WebP等）を使用している
- 遅延読み込み（Lazy Loading）が実装されている
- JavaScriptの読み込みが最適化されている
- CSSが最適化されている（未使用CSSの削除）
- ブラウザキャッシュが適切に設定されている

4. サイト構造とURL（8項目）

- すべての重要ページが3クリック以内でアクセスできる
- 適切なパンくずリストが実装されている
- XMLサイトマップが最新情報に更新されている

- robots.txtファイルが適切に設定されている
- 404エラーページが適切にカスタマイズされている
- URLが簡潔で理解しやすい構造になっている
- ページ間の内部リンクが適切に設置されている
- カテゴリやタグの構造が整理されている

5. HTML構造とコンテンツ最適化（8項目）

- 各ページにユニークなタイトルタグとメタディスクリプションがある
- H1タグは各ページに1つだけ使用されている
- 見出し（H1～H6）が階層的に使用されている
- すべての画像に適切なalt属性がある
- 構造化データ（Schema.org）が実装されている
- 記事の更新日が明示されている
- PDFやビデオなどの非テキストコンテンツが適切に最適化されている
- 関連記事や推奨コンテンツへのリンクが適切に設置されている

○優先的に改善するとよい順番

1. セキュリティ関連（HTTPS化、WordPress更新など）
2. クロール・インデックス関連（robots.txt、サイトマップなど）
3. モバイル対応の深刻な問題
4. ページ速度の改善
5. その他の最適化項目

○おすすめのチェック頻度

- ・毎月1回：ページ速度のチェック、404エラーの確認
- ・3ヶ月に1回：サイト全体のチェックリストを使った確認
- ・半年に1回：より詳細な分析ツールを使った総合的なチェック
- ・サイト更新時：更新したページの再チェック

○便利なテクニカルSEOツール

1. Google Search Console：Googleの目線でサイトを診断
2. PageSpeed Insights：ページの表示速度を分析

作成：Webコンサルタント 松崎

<https://style-easy.jp/>